

平成27年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校古座校舎

学校長：愛須 貴志

目指す学校像 ・ 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域の教育、文化の拠点としての役割を果たすことができる信頼される学校。 自立した市民として豊かな個性と高い志を持ち、社会の担い手として活躍できる生徒。
------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 確かな学力の向上に向けて、授業内容の更なる工夫及び改善を図る。
	2 生徒の自己実現を促し、将来に向けた進路希望の実現を図る。
	3 規範意識を高め、良き社会人として地域に貢献できる力を育成する。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方針の公表の方法
ホームページ、学校評議員会、育友会総会等の機会を活用して公表。

自 己 評 価					年 度 評 価 (3月16日現在)		
重 点 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 取 組	評 価 指 標	達 成 度		
1	授業態度は比較的落ち着いた。生徒は学力差が大きく、進路志望も多様である。 一人一人の進路目標に対応し、充実した学校生活を送り、主体的に学びながら成長できる環境づくりや家庭学習の充実が必須である。	より良い授業を構築する中で、生徒の意欲や態度などを多面的・多角的に理解する工夫ができていないか。 生徒の学力を伸ばすため、家庭での学習時間確保等の具体的方策が講じられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 教科等教育法研究事業と関連づけた研究授業等の実施による教員の授業力の向上。 学習環境の整備 生徒による授業評価等を授業改善に生かす具体策の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の実施と授業力向上に結びつく研究協議の実施。 普段の清掃は行き届いているか。 生徒が学びやすい環境が整備されているか。 授業の満足度を向上させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は事業に関連しての研究授業は実施しなかったが、6月の教育実習期間中に実習生を囲んで、授業についての話し合いの場を何度か持った。 学習環境は、生徒による清掃は行き届いているが、施設・設備の部分では課題が多い。 授業評価アンケートは例年どおりに実施、結果は例年どおり、概ね良好であった。各教科での分析も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる授業改善の推進→ICTの活用方法、言語活動やアクティブラーニングの手法の導入について、より研究を進める。授業評価の更なる活用を進める。 施設の老朽化が進んでおり、何らかの対策が必要である。→事務室と協力し、優先順位を付けて対応していく。
2	進学や就職等、生徒の進路実現について一定の成果をあげている。 生徒個々の進路実現に向けた系統的なカリキュラムの編成、授業内容の精選や授業方法の改善に組織的に取り組むことによりさなる学力向上に取り組むことが今後の課題である。	3年間を見通した系統的なカリキュラムおよび授業内容となっているか。 生徒の自己実現を促し、自らの将来を見据えることができる力をつけているか。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本から発展応用まで生徒個々に応じた学力向上を図り、生徒の進路実現に結びつける。 個人面談や保護者面談によるキャリアカウンセリングの実施。 総合的な学習の時間やキャリア講演会等、生徒の自己実現を促す取組の実施。 インターンシップなど社会体験をする機会の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内基礎学力テストおよび各種補習の実施。 サテライト講座の開講。 三者面談の実施。 就職主任、就職指導員との面談。 「ESD」「世界遺産教育」「防災教育」等の取り組みを推進する。 さらなるインターンシップの実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内基礎学力テストや進学対応模擬試験を実施し、生徒個々に応じた学力向上を図り、生徒の進路実現に結びつけることができた。 個人面談や保護者面談等については概ね実施できた。 ESD体験学習や世界遺産フィールドワークをジオパークガイドと連携した形で実施することができた。 インターンシップは7月に希望者を対象として実施した。生徒個々の意識が高く各事業所から高い評価をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職未決定者への対応を進める→より早い時期から指導を進める。ハローワークや地域若者サポートステーション等関係機関等との連携をより深めていく。 校舎間の情報共有、連携について、昨年度に比べてかなり改善されたが、より一層の進展が必要である。→両校舎の3学年、進路指導部合同の進路行事の開催。
3	大部分の生徒は真面目に高校生活を送っており、遅刻等もほとんどない。 ただ一部に、支援を必要とする生徒が存在する。 全職員が一致協力し家庭や地域と連携しながら粘り強く指導していく必要がある。	校内外において身だしなみやマナーが守られているか。 校内では、校則や社会規範を守らせるよう努め、市民性を育む取組がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の校門指導(遅刻防止、身だしなみ、あいさつ指導) 定期的な服装、頭髪点検。 定期的な駅(列車)指導 授業開始時に行う身だしなみ指導。 防災教育を通して生徒の「自助、共助、公助」の意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導強化週間等の設定による重点指導の実施。 服装、頭髪点検時に指摘される生徒の減。 特別指導件数を減らす。 高校生防災スクール等の防災教育の推進。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導上の大きな問題点はなく、生徒特別指導もゼロ件であった。 地震等発生時の校内での避難経路の確認と防災物品の保管場所見直しを行った。あわせて、ASや避難訓練の実施をとおして、生徒の意識高揚も図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみや基本的な生活習慣の確立にむけ課題のある生徒への指導が必要→個別の対応を強化し規範意識の向上を図る。 いじめ撲滅→人権学習等の取り組みや、学期ごとのアンケートの活用を更に進める。 防災教育の推進。→より実践的な訓練を実施していく。

学校関係者評価
平成28年2月16日実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>○アンケート結果 アンケートは、①本校の教育方針や教育指導目標の重点が分かりやすく示されていると思いますか。②本校は保護者や地域の方々との情報交換や意見を取り入れ活かす機会を設けていると思いますか。③本校には、他の学校にない特色があると思いますか。④本校は地域等の活動に対して協力的であると思いますか。⑤本校では、生徒の状況に応じ、充実した授業が行われていると思いますか。⑥本校では、基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われていると思いますか。⑦本校の学校行事等は活発に行われていると思いますか。⑧本校では、生徒会活動や部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。⑨本校では、生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われていると思いますか。⑩本校では、校舎、校庭、教室の環境美化や整備ができていますか。⑪本校の生徒は、明るく生き生きと学校生活を送っていると思いますか。(12)上記の①～⑪を総合評価してください。以上の12項目で実施。⑩、③、④、②の項目が8割を超えていない。特に②については、「そう思う」と「どちらか」という意見をあわせて、52.4%であった。</p> <p>自由記述欄には、「進路など目標を設定できるようなサポートがあると良いと思います。」「クラブ活動について、専門性の高い先生を確保して下さい。この時期の子どもの成長に大きなプラスだと思います。」という意見があった。</p> <p>○学校評議員会での意見 生徒の様子や教員の指導について、概ね好意的な意見を頂いた。</p>